

第十二回本郷ふじやま公園古民家歴史部会歴史散策(金沢八景)

平成 17 年 12 月 15 日

平成 18 年 06 月 01 日(木)金沢八景駅前 10:10 集合 10:20 出発

雨天の場合は翌週 6 月 08 日(木)に順延します。

10:20 出発	10:35		10:55	11:10	11:30
金沢八景駅前	①枇把島神社	〔②瀬戸の秋月〕	②瀬戸神社	③天瀬戸橋	④天然寺
11:50	13:10	13:30	13:50	14:30	14:40
⑤宮前八幡神社(昼食)	⑥伝心寺	⑦安立寺	⑧龍華寺	⑨洲崎神社	⑩洲崎憲法草創の
14:40	15:10 解散				
碑	〔⑪洲崎の晴嵐〕	神奈中金沢八景大船行きバス停	解散		
9:29	10:00	10:10			

(参考) 公田ー八景バス停ー京急八景駅前

一口メモ

①枇把島神社 瀬戸 2

北条政子が近江竹生島の弁財天を勧請し、海中に築いた神社です。此の弁財天は珍しく立ち姿なので「見立弁財天」と呼ばれています。このあたりより平潟湾にのぼる秋の月は一幅の絵となり、金沢八景の一つ〔瀬戸の秋月〕といわれるところです。

③瀬戸神社 瀬戸 18-14

平潟湾の瀬戸と洲崎の間は潮流厳しく海上交通の難所で恐れられていました、昔の人が海神を祀ったのが起源といわれています、5~6世紀頃の祭器も発見されています。治承四年(1180)頼朝が伊豆三島神社を勧進した信者が増え神社も大きくなりました。右の石灯籠は寛文三卯歳久世大和守源広之・左は享保六辛丑年丹後守源朝臣米倉氏保教とあります、之は木の前に見える茅葺き民家もとの天台宗日輪山円通寺にあったものです。琵琶神社はこの社の境内社の一つです。参道右手に金沢四石の一つ福石があります、頼朝が海水で身を清めるため衣服を掛けたので服石といわれ、この前で物を拾うと福が授かると云われ云います。毎年七月上旬には湯立神楽が奉納されます。

④瀬戸橋 瀬戸 18 地先

瀬戸と洲崎をつなぐため、金沢北条氏が嘉元三年(1305)頃に造営したようです。

⑤天然寺 泥亀 1-4

浄土宗法爾山天然寺 本尊阿弥陀如来三尊立像は春日作りで鎌倉後期から室町時代の中国宋元朝様式を取り入れた仏像であります。寺宝の不動明王画像は弘法大師直筆といわれています。他に善導大師立像、法然上人座像が安置されています。

⑥寺前八幡神社 寺前1-10

祭神は八幡大菩薩 かつては寺前・町屋・洲崎の総鎮守でしたが、明治になって氏子を寺前に限ったと云われています。

⑦伝心寺 町屋町16

曹洞宗 嗣法山伝心寺 本尊釈迦如来、脇仏普賢菩薩・文殊菩薩が安置されています。風土記稿町屋村の条に「傳心寺大永峰嗣法山と号す」とあるように大永峰嗣法山法蓮王傳心寺と呼ばれています。寺伝に宝治元年(1247)北条時頼公の開基とし、永平寺道元禅師が宝治元年約半年間当山で説法をされたと記録にあるそうです。大永元年(1521)北条氏繁公が道了山より養拙宗牧大和尚を招き開山したと伝えられています。(氏繁公の墓碑現存)

寺から500m東に伝海入定塚があります。町屋の入り口の道は海が荒れたり、大雨が降ると壊れてしまい難儀をしていたのを知った寺の僧侶伝海はこの道を守ろうと入定塚にこもり、延宝四年(1676)入定したと伝えられています。

⑧安立寺 町屋町7

日蓮宗福船山安立寺 本尊は感応の祖師像と中央にお題目を周囲に十界諸尊を記した、十界大曼荼羅です。この寺は元真言修行の悟明法印の庵室でした、寺の前に「船中問答靈場」と記されています新編武蔵風土記稿町屋村安立寺の条に「建長五年(1253)日蓮鎌倉に向かう船中、中山の城主トキノゴロウタネツグ富木五郎胤継と問答あり着岸後も尚続けしなりと、時の住職悟明法印これに感じ弟子となりこの寺を開きしと。六浦上行寺及び杉田妙法寺にも同様の船中問答の旧跡なるよし伝うれば、何れが実蹟なるを知らず」とあります。

⑨龍華寺 洲崎町9-31

源真言宗知足山龍華寺 本尊大日如来 源頼朝が六浦山中に建立し弥勒菩薩像・中将姫曼荼羅・弘法大師自作の愛染不動明王像を祀り浄願寺と号し文治五年(1189)の創建と記されています。明応年中(1492~1500)火災に遭い弥勒菩薩のお告げで六浦から洲崎の現在地に移り後土御門院の勅命で知足山龍華寺と号するようになりました。天文十年(1541)銘の梵鐘は下重要文化財・弥勒菩薩座像・地藏菩薩(何れも室町時代)は市指定有形文化財です。近年蔵から発見された天平時代(710~794)乾漆菩薩像が関東で始めて発見され一躍有名になりました。

境内には泥亀新田開拓者長島泥亀一族の墓所があまします。

⑩洲崎神社 洲崎町9

祭神は菅田別命(応神天皇)神社 洲崎町の鎮守 風土記稿には第六天社(他化自在天ともう)、人間の六欲を自在にあやつる魔力を持つと信じられ、室町時代に盛んに信仰されていました。

⑪洲崎憲法草創の碑 洲崎町7

明治20年伊藤博文・金子健太郎・伊東己代治・井上毅等が草案を練った東屋旅館跡地です。この辺り金沢八景の一つ〔●洲崎の晴嵐〕の景勝地です

第十二回行程案内図

